

※南中生は右のQRコードを使うとホームページでもご覧になれます。

長井市立
長井南中学校
学校便り

南中生

令和4年
1月14日(金)
第38号



海外たすけあい募金活動への御礼が届きました

12月16日(木)～17日(金)に行った「海外たすけあい募金」に30,308円の心あたたまるご協力をいただきました。ありがとうございました。日本赤十字社山形県支部の青少年赤十字担当の方から、全校生分の缶バッジと次のようなメッセージが届きましたので、みなさんに紹介します。(バッジは本日配付します。)

新年あけましておめでとうございます。早々に寒波の到来で厚い雲に覆われた景色になりました。皆さまの学校や地域はいかがでしょう。

このたびは、生徒会の皆さんで募金活動を進めていただきありがとうございました。日本赤十字社山形県支部で確かに受け取り、海外の支援先にお届けするよう手続きをいたします。

新型コロナウイルスという災害に世界中の人々が遭遇し丸2年が経とうとしています。いまだに我慢と努力が続いています。長井南中学校の皆さんも多くの努力と工夫を続けておられるかと思えます。そのような中で皆さんが、世界の様々な方々を思い、募金活動に取り組まれたことはとても尊く、皆さんにとって誇るべき活動だと思います。皆さんのやさしさに触れたとき、多くの人々が皆さんから勇気をいただくことになると思います。貴校を訪問し、ご担当の先生から募金箱いっぱいの募金をお預かりした時、その重みに皆さんの誠意と熱意を感じ感動しました。

どうぞ、この足跡を大切にしながら、毎日の学校生活での健やかな暮らしにつながってくださいますようお願いいたします。皆さんが大きな希望をもって新年を迎え、長井南中学校が笑顔とやさしさに満ちた毎を送られることをご祈念申し上げます。

追伸

2022年は日本の青少年赤十字が発足して100年になります。皆さんのご協力によって、より一層思いやりにつながる意義のある活動につなげていく機会になればと考えております。記念の缶バッジをご送付いたします。ご活用ください。



避難訓練を前に過去の教訓に学ぶ

1月11日(火)全校朝会で安全担当の蛭田大和教諭から、訓練のねらいと本校が火災に遭った時に勤務していた伊藤利広教諭に当時の様子と学んだことを話していただきました。私たちにとって大切なことは、まず火災を未然に防止すること、次に万が一の場合に命を守る避難や行動をすること、そして、聞いたことを次の世代に伝えることです。このことを心にとめ、1月19日(水)に避難訓練を実施します。伊藤教諭の話の概略を紹介します。

私はこれまで、親戚や知り合いで、6件の火事(全焼)を経験しました。それらの火事で合わせて4名の方が亡くなりました。火事は一瞬にして人の命を奪い、財産を焼き尽くします。それでは、この学校の火事について話をします。

それは、今から16年前、現在の3年生が生まれる少し前、平成17年1月24日午後4時ごろに起こりました。

学校は終りの会の真っ最中でした。突然、非常ベルの音が「ジリリリリ〜！」と静かな校舎内に鳴

